

高原の温泉 日光・霧降温泉

今月の表紙

霧降温泉も満喫できる宿 大江戸温泉物語 日光霧降



日光国立公園内に位置する標高1,000メートルの本格温泉リゾート。館内から日光連山など、大自然の眺望が楽しめます。

最上階の展望大浴場・内風呂は炭酸水素塩泉の温泉で、神経痛・冷え性・関節痛などに効果があります。開放的な露天風呂で身体を芯から温めながら、満天の星空の下、日ごろの疲れをゆっくり癒して下さい。霧降高原の彩り豊かな紅葉など、四季それぞれの自然美が堪能できるのも魅力です。

お食事は食材の旬を生かした美味しいバイキング料理。地元産のふっくら炊き上げたごはん和食や、洋食がバラエティ豊かに揃い、日ごろ味わえないメニューの数々が満喫できます。

癒される温泉や、美味しい食事以

外にも、館内にはシャンデリア輝く約180坪の大型ダンスホールや、壁一面のボルダリングウォールなど充実した設備も完備。隣接するスポーツ館やテニスコート、夏季限定の屋内プール(VIVA!ハワイアン)なども揃うゴージャスな施設です。

早朝の澄み渡った空気が満ちた敷地内を歩く「モーニングウォーキング」は人気のお散歩企画。自然のお話を聞いたり、脳を活性化させるゲームや五感で感じる運動をしたりと、楽しいプログラムが満載!一日の気持ちよい始まりにぴったりの企画です。

他の温泉宿とは一線を画す充実のアクティビティを楽しみながら、雲上の本格リゾートホテルでの休日をご堪能下さい。



↑露天・内風呂ともに開放感あり



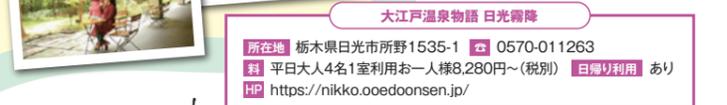
↑9月~11月は秋メニューも登場!

日光霧降温泉 効能レポート

温浴振興協会理事/ 諸星敏博 談

『硫黄が苦手な人にも親しみやすい無色透明の湯』

8世紀末に、四本竜寺(紫雲立寺)を建立した勝道上人によって発見されたのが発端で、関東屈指の観光地となる日光。その中心部から13kmほど北西に位置する日光国立公園・霧降高原の中にある温泉で、東照宮などの世界遺産の観光にはいちばん近い便利な温泉地としても知られています。無色透明無臭のナトリウム・カルシウム・塩化物泉・炭酸水素塩泉温泉はお肌の角質層を軟化させてツルツル感が生ずるため、美肌の湯とも言われます。角質を乳化してくれるとっても貴重な温泉なので女性におすすめ、本当にお肌がすべすべになります。効能は病後回復、疲労回復、ストレス解消、健康増進など、温泉を満喫すれば一日観光で疲れた体をじんわりと癒してくれます。



↑滞在中は思い思いの過ごし方で

大江戸温泉物語 日光霧降
所在地 栃木県日光市所野1535-1 ☎ 0570-011263
料 平日大人4名1室利用お一人様8,280円(税別) 日帰り利用 あり
HP <https://nikko.oedoonsen.jp/>

霧降高原の滝めぐり

霧降隠れ三滝

全国でも珍しい北向きに流れ落ちる「マクラ滝」。玉すだれのように水が落ちる「玉簾の滝」。高さ10mながら水量が多い「丁字の滝」。この霧降隠れ三滝も一見の価値があります。



上下2段に分かれる滝は、高さが75m。水が落ちる様子も迫力あり!

霧降ノ滝

日光三名瀑の一つに数えられている、霧降川にかかる滝です。水が岩に当たり、飛び散って流れる様子が、まるで霧をふられるかのよう、この名がつけられたと言われています。

いかがでしたか? これまで訪れたことも多いかもしれない日光ですが、今年はより深く知る旅をしてみたいかがでしようか。さわやかな風を感じる温泉も一緒に満喫してみてください。

まだ知らない日光へ 日光まち歩きツアー

一般の観光コースでは紹介されていない「日光のルーツの場所」を巡るツアーです。まちなみから日光山輪王寺の常行堂まで約2時間、まだ知らない日光に出会うことができます。

日光二荒山神社

勝道上人が1200年以上前に開いた日光山。古くから下野国の一の宮として信仰を集めています。主祭神は大己貴命。招福や縁結びの神としても有名です。



↑現代では縁結びの神として人気の神社。まちなみでぜひ新しくて

開山堂、観音堂、仏岩

将棋の香車を借りて安産祈願することから、香車堂とも呼ばれる観音堂。開山堂の裏山一帯の断崖が仏岩。くぼみには六部天などが並んでいます。



↑朱の壁が印象的な開山堂。勝道上人の弟子10人の木像も納めています

東照宮社務所

日光発祥の地。境内には千手観音と金剛童子を祀りしている金剛堂とも呼ばれる「観音堂」のほか、源実朝供養で現在の東照宮の地に建てられ、後にここへ移築した「三重塔」などあります。



↑日光発祥の地。境内には千手観音と金剛童子を祀りしている金剛堂とも呼ばれる「観音堂」のほか、源実朝供養で現在の東照宮の地に建てられ、後にここへ移築した「三重塔」などあります。

四本竜寺

日光二荒山の別宮である神社です。祭神は味耜高彥根命(あじすきたかひこねのみこと)。建立は、日光山を開いた勝道上人。二荒山神社の発祥地に、790年に建てられたそうです。



↑日光二荒山の別宮である神社です。祭神は味耜高彥根命(あじすきたかひこねのみこと)。建立は、日光山を開いた勝道上人。二荒山神社の発祥地に、790年に建てられたそうです。



常行堂

日本の社寺として世界遺産に登録されている日光山輪王寺の、15ある支院の一つです。まち歩きツアーはここで解散するので、そのあとにほかの支院を巡ってみるのもおすすめです。

遺遊園ライトアップ

日光山輪王寺にある、江戸時代に造られた池泉回遊式の日本庭園です。ここでは紅葉が美しい10月下旬頃から、期間限定でライトアップを実施。昼間とは違う魅力が楽しめます。

会場	日光山輪王寺「遺遊園」
開催期間	毎年10月25日~11月15日
開催時間	17:00~20:00(11月1日以降は16:00~)
料金	大人500円(昼夜入れ替え制。星は300円。保護者同伴の中学生までは無料)
問い合わせ	日光山輪王寺 0288-54-0531

まち歩きを楽しむための準備を

まち歩きは動きやすい服装はもちろん帽子や雨具など、天候に配慮するの必要です。そして水分補給も大切。イベント内容をよく確認して、安全に楽しめるよう準備しましょう。

神橋(しんきょう)

日本三大奇橋の一つで、二荒山神社の建造物。勝道上人が日光山を開く際、深沙王が放った2匹の蛇の背から生えた山菅が橋になり、大谷川の急流を渡れたと伝えられています。

本宮神社

日光二荒山の別宮である神社です。祭神は味耜高彥根命(あじすきたかひこねのみこと)。建立は、日光山を開いた勝道上人。二荒山神社の発祥地に、790年に建てられたそうです。

日光そばまつり

日光や栃木県内だけでなく、全国各地のそば処が出店する、そばを存分に楽しめる祭りです。そば道具や地元物産の販売のほか、素人そばうち段位認定大会なども行われます。

主催	日光山輪王寺
開催日時	9月7日(土)、8日(日)、受付8:00~
参加料金	大人2,000円、小中学生800円、幼児無料(2日間の事前申込料金。1日みの参加も同額。当日申込あり)
問い合わせ	日光市観光経済部日光観光課 0288-53-3795(8:30~17:15)

日光ツデーウォーク

各日違うコースを歩きながら、日光の歴史や自然を楽しめます。初心者からOKなので、家族や仲間と参加できます。日帰り温泉割引特典があるので、旅の記念に参加してみてください。

開催日時	9月7日(土)、8日(日)、受付8:00~
参加料金	大人2,000円、小中学生800円、幼児無料(2日間の事前申込料金。1日みの参加も同額。当日申込あり)
問い合わせ	日光市観光経済部日光観光課 0288-53-3795(8:30~17:15)



日光 秋のイベント

日光けっこうフェスティバル

日光で毎年開催されている秋のイベントです。特産品を使った「日光下駄飛ばし選手権」や、芋煮を大鍋で作って来場者にふるまう人気の「関東一芋煮会」などが今年も行われます。

開催日時	2019年11月15日(金)~11月17日(日) 10:00~15:00
開催場所	日光だいや川公園オートキャンプ場及びインフォメーションエリアほか
問い合わせ	日光けっこうフェスティバル実行委員会 0288-53-3795



日光

今月の太郎は、栃木県の日光へ。今年、世界遺産登録から20年を迎える「日光の社寺」を楽しむイベントや、こんなものがあるのか、どんなものがあるのか、太郎と一緒に見てみましょう!



↑夜は「日光秋の火花」を開催。江戸宗家・健屋の美しい火花を楽しめます